

今度はこれがでる！

## 第16回（2014年9月7日）向け建設業経理士検定試験 2級出題予想

	第1予想	第2予想	第3予想
第1問	仕訳問題 ・手形借入金・当座借越・固定資産(除却、売却、建設仮勘定など) ・剰余金の処分・工事進行基準		
第2問	消費税 株式の発行 固定資産の交換 買収	本支店会計 総合償却 償却原価法(債権) 法人税等の処理	社債 銀行勘定調整表 材料の値引・割戻・割引 伝票会計
第3問	工事原価明細表	材料費会計	勘定記入
第4問	完成工事原価報告書の作成＋理論問題		工事原価明細表＋理論問題
第5問	精算表の作成		

なぜこう予想した？

第1問の仕訳問題は、ほとんどが限られた論点からの出題になっています。予想に挙げたものを確実にマスターしておきましょう。直近では、**工事進行基準**に関する問題が続けて出題されています。引き続き出題される可能性が高いと考えられるため、今回も予想に挙げています。また、予想に挙げたもの以外にも、仕入割引や有価証券の処理、消費税の処理なども重要です。第2問の計算問題と併せてマスターしましょう。

第2問は、計算問題が問われており、傾向として単純な計算問題の他、**勘定記入**や**取引の一連の流れ**の結果に関して金額を推定させる問題も出題されることがあります。いずれにしても、内容そのものは基本的な内容で、他の問題の対策と並行してできるものが多いので、第1問や第5問対策と一緒にテキストの内容を確認しておきましょう。なお、**本支店会計**は直近10回連続で出題されています。そろそろ出ない可能性も考えられますが、ここまで連続で出題されると、次も出題される可能性は低いと思いますので、第2予想としました。予想に挙げた頻出論点は可能な限りおさえておきましょう。

第3問は、第8回以来出題されていない**工事原価明細表**を第1予想としました。当月発生工事原価と当月完成工事原価の違いを確認しておきましょう。また、前回は部門別計算に関する問題であったため、今回は費目別計算に関する問題の出題可能性が高いと予想し、第2予想には第4回以来出題されていない**材料費会計**を挙げました。第3予想には、第9回に出題された**勘定記入**の問題を要注意問題として挙げています。

第4問では、**完成工事原価報告書**作成に関する出題が圧倒的に多いため、これを優先的に対策しておくことがよいでしょう。ただし、第2回・第7回に出題された工事原価明細表の可能性も考えられることから、こちらを第3予想としています。理論問題については、記号問題である点や配点、学習の効率を考えると試験対策の優先順位は下げても問題ないと思います。

最後に、第5問です。第5問は毎回**精算表**の作成となっています。ポイントは、**決算整理事項**の仕訳となりますが、毎回下記の論点を中心とした出題となっています。その他にも、高い確率で出題されるお決まりの論点もあるので、これらのパターンをしっかりマスターしておけば高得点を狙えるでしょう。

《決算整理事項》

- ・貸倒引当金の設定
- ・退職給付引当金の設定
- ・法人税、住民税及び事業税の計上
- ・減価償却費の計上
- ・完成工事原価の算定

合格目指して  
ラストスパートだ！

